

薬連ハイライト

三年後の参議院選挙に組織内候補者擁立へ

平成28年9月14日「平成28年度臨時評議員会」が四谷スクワール麹町で開催された。

再選を果たした藤井基之参議院議員は、衆・参併せて、医師23名、歯科医師6名、看護師6名、薬剤師3名、理学療法士2名、臨床検査技師2名の医療職がいる。歯科医師連盟は今回選挙には候補者を立てなかったが、三年後には、組織内候補を擁立するだろう。組織内候補をどの様に擁立して育てていくかが課題だと挨拶した。

とかしきなおみ衆議院議員は、自民党厚生労働部会長に就任したことを報告した。社会保障費は厳しい状況になっている。厚生労働省は、患者のための薬局ビジョンをゴールとして示した。職能を十分発揮することが重要だと挨拶した。

協議では、三年後の衆議院選挙について活発な意見が交わされた。岩本副会長兼幹事長は、薬剤師で、出たい人より出したい人。地盤・看板・鞆が揃っている人。会長幹事長会議、ブロック協議会の中で活発な意見を出して戴き、早く決められれば、早く動けると、条件と選考手順を示した。また、山本会長は、一票でも自民党内において多くの

票が必要だ。薬剤師が薬剤師の言葉で話す薬剤師の国会議員を置いておきたい。三年後の選挙において、薬剤師を応援できるのは薬剤師であると思う。今までお世話になった方に対してどうするかと言うことはあるが、政治の世界は、義理と人情とやせ我慢と友人に言われた。義理と人情は欠かせないが、仲間内に十分に自分たちの主張が出来る人材がいながら、他の方にということは日本薬剤師連盟の取るべき態度ではないとし、協議の後、三年後の選挙をやれというご意見であったと受け止めている。その候補については、皆様方とご相談して決めていきたい。そして、一つにまとまって仕事をしていきたいと決意を述べた。



もとゆき便り

第192回臨時国会開会

自由民主党総務副会長
参議院議員・薬剤師
藤井 もとゆき

第192回臨時国会は9月26日に召集されました。7月の参議院議員選挙後では初の本格的な国会論戦の場となります。11月30日までの66日間に渡り、平成28年度第二次補正予算案や環太平洋パートナーシップ協定(TPP)の承認案と関連法案などの重要案件の審議が行われます。

私は今国会において、厚生労働委員会及び決算委員会の両委員会に配属されるとともに、沖縄及び北方問題に関する特別委員会の委員長に指名されました。沖縄、北方問題に関して安倍首相は、外交・安全保障の基軸は日米同盟が不変の原則であり、日米の強い信頼関係の下、抑止力を維持しながら、沖縄の基地負担軽減に全力を尽くすとし、北部訓練場の約4千ヘクタールの返還を実現させるとしました。また、12月のプーチン大統領訪日予定を控え、領土問題の解決や戦後七十一年を経ても平和条約がない異常な状態に終

止符を打ち、経済、エネルギーなど日露協力の大きな可能性を開花させるため、首脳同士のリーダーシップで交渉を前進させていくと、所信を述べました。

また、安倍首相は消費税率10%への引上げを30ヵ月延期することを改めて示したうえで、消費税増税が延期された中であっても2020年度の財政健全化目標を堅持することを改めて表明し、平成31年10月の実施に向け、軽減税率導入へ準備を進めるとともに、逆進性対策として所得の低い世帯への給付を行うとしました。さらに、アベノミクスの果実も活かし、優先順位を付けながら社会保障を充実していくとし、50万人分の介護の受け皿の前倒し整備、保育の受け皿整備の加速、学校施設を活用した小学生の放課後の受け皿づくりを全国展開するなど、一億総活躍の未来を見据え、子育て支援、介護の拡充を進めるとの決意を示しました。

自民党の役職である総務副会長の職務と併せ、与えられた職責をしっかりと果たし、我が国の明るい未来の実現に向けて尽力して参りたいと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@m Fujii.jp